



▲昭和42年当時の丸子の学舎



▲昭和43年当時の徳倉の学舎



静岡県立沼津商業高等学校同窓会

〒411-0917

静岡県駿東郡清水町徳倉1205

TEL 055-932-5747 (FAX共用)

創立百二十周年を迎えて



会長

長嶋繁雄

(高二一回)

昨年の四月に会長を拝命し、早いもので一年を迎えることになりました。同窓会の皆様方には日頃よりご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本年、沼商は創立百二十周年の節目の年を迎え、同窓会では創立百二十周年記念事業実行委員会を立ち上げました。

記念事業では、一つに生徒活動の環境改善のために、体育館ステージ幕が五十年を経過し繊維の劣化が著しく、幕として使用できない状況にあり学校からの強い要望もあり改装することとしました。

改装費の見込額は、幕と昇降機の取替え、舞台壁面の塗装など諸々の改装工事を含め一、〇八〇万円になります。二つ目に、本事業へ生徒の参加を促す計画をたて、記念式典、記念コンサートを計画しています。

以上の事業を遂行するにあたり皆様のご理解ご協力を頂いて、母校のため後輩生徒のためにご寄付の程よろしくお願い申し上げます。

沼商に再び着任して



前副校長

多嶋洋一

(現県立御殿場高校 学校長)

愛する沼津商業高校に十二年ぶりに再度赴任させていただき早いもので一年が経とうとしていきます。私は平成六年四月から十八年三月の十二年間沼商にお世話になりました。年齢でいうと三十一才から四十二才ですので、今の私があるのは沼商のおかげといっても過言ではありません。当然二十年前の百周年記念行事を沼商教員として迎えました。沼津市民文化センターで盛大に記念式典が行われ「沼商の同窓会は凄い」と強く思ったことを良く覚えています。あれから二十年経った今もその勢いは衰えず、同窓生の方々の「沼商愛」を様々な行事に参加させていただいた折に感じています。私が最も敬意を表す所は母校の事に留まらず、在校生一人一人のことをしっかりと考えてくださっている所です。「台湾海外研修」奨学金制度はまさしくその表れであり感謝の念に堪えません。これからも百二十周年を迎える名門沼商と沼商生を支えて頂きたいと思っています。私たち教職員も、同窓生の方々に負けないよう、沼商のため沼商生のために、協力しあって教育活動を行っていきます。

「丸子の杜」… 1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

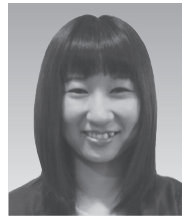
伝えるくそしてつながる！



藤江 康儀
(高二八回)

今年度、沼津商業高校創立二二〇周年の節目を迎えるに当たり、先輩諸氏の残した功績の数々、そして受け継がれてきた伝統の沼商魂！私は、今日まで受け継がれてきた伝統をとっても誇らしく思います。また、最近の後輩諸氏の功績、各種資格・各種全国大会出場・各種商品開発提案・海外研修等々、新聞紙上を通し、目を見張る活躍に感謝と敬意を表します。さて、私たち第二八回卒が伝統の沼津商業高校第六五回総会当番幹事を拝命しました。我々当番幹事は成功する為五年前より同級生に周知する為同窓会等を開き周知し本番を迎えた。私たちが当時一年生の時、先輩の二七回卒・二六回卒は本校でお会いしているということ、同窓会総会では大変お世話になりました。特に二七回卒青島様をはじめとする皆様方には感謝申し上げますと共に御礼申し上げます。我々当番幹事の時、同窓会会長が変わり今までと違った対応に困惑しましたが、しかしながら二八回卒全員全力でおもてなしに徹しました。皆様方が、沼商愛と友情を深められたならば幸いです。ご協力本当にありがとうございます。

昨年度卒業生からのメッセージ



宇土 亜美
(高七十回)

私は、沼津商業高等学校を卒業し、給与通関に入社しました。入社してすぐの頃は、聞いたことのない単語ばかり出てきてとても戸惑い、インターネットで調べたり先輩に聞いたりの毎日でした。上司の方にもたくさん怒られ、正直辞めたいと思ったこともありましたが、けれどその上司の方が褒めて下さった時は、泣きそうなくらい嬉しかったです。仕事をしていると、多くのことを知ることができ、色々な人たちと出逢うことができます。知識が増えると仕事も楽しくなるし、職場の人とお話するのもとても面白いので、会社に行くのが毎日楽しみです。休日、友人とお出掛けをして高校時代の思い出話をしたり、仕事の話などしています。共感できる所もあり、驚くことも多くありました。高校時代に戻るのもたまにはいいかなと思います。今でも辛いこと、わからないことは多々ありますが、私はこの会社に入社して良かったと心から思

います。これから社会人二年目がスタートするので、一年目より更に気合いを入れ、頑張ります。

石橋レイア (高七十回)

昨年の今頃内定をもらい社会人になることがとても楽しみでした。沼津商業高校を卒業し、私は税理士事務所へ就職しました。同期もいなく職場の人は皆何十年も働いている人ばかりでした。最初は不安でしかなく何とか失敗しないようにとか迷惑かけないようにしなきゃとそんなことばかり考えていました。しかし初めてやることばかりでミスをしてしまいました。やばい、やってしまったと思いましたが、それでも上司の人は怒ることなく「初めてのことでだから完璧にやれるなんて無理だから、同じようなミスをしなればいんだし分からなければ聞いてくれればいいよ。」そう言ってくれたのです。私は、沼商で学んだことをすっかり忘れていました。わからないことは聞く。簡単なようで難しいことなんだと社会人になり学びました。これからもそういった初心を忘れず社会人として頑張りたいと思います。沼商で学んだことは決して無駄ではなかったです。社会人になったばかりの緊張感や社会人としての意識や考え、そういったことが大切だと学ぶことができました。

第六十六回

同窓会総会と懇親会

応援しよう！沼商生

～輝く未来のために～

左記の日程により総会・懇親会を開催致しますので、数多くの同窓生の参加を期待して居ります。

記

日時 二〇一九年七月十三日(土)

場所 沼津キャッスルホテル

受付 十三時より

総会 十四時より

講演会 十五時より

演題 「政権の課題と、ポスト安倍について」

講師 田崎 史郎氏

(政治ジャーナリスト)

懇親会 十六時三十分より

会費 七、〇〇〇円

申込方法は同封の葉書にてお申し込み下さい。

年会費納入のお願い

皆様には母校の同窓会の一員として母校発展の為に御協力下さい。同封しました振込用紙にてお振り込み下さい。御協力をお待ちしております。

第6回生徒海外研修

期間 8月19日～23日
訪問国 台湾(台北市内)
研修生

- 三年生 大高 結以
- 〃 金子 晃大
- 〃 栗田 陽斗
- 二年生 飯田りのん
- 〃 楠井 遊佐
- 〃 山口 桃奈
- 指導教員 多嶋 洋一(副校長)



私たちは、夏休みに本校同窓会に主催していただいている研修で台湾へ行きました。研修に行くまでに、事前研修を重ねることで、台湾の歴史や文化、日本との違いについて学びました。実際に台湾へ行って気付いたことが二つあり

ます。

一つ目は、外は暑くても建物内は寒いということです。八月の台湾は日本と同じく、とても蒸し暑いですが、それに対し、建物内は、エアコンが強く効いていて寒いと感じられるほどでした。七月、八月に台湾に行く際は上着を一枚持って行くことをおすすめします。

二つ目は、台湾の学生は積極的でコミュニケーション能力が高く、親切だということです。私たちは、台北市立士林高級商業職業学校という台湾の高校の方々と交流をしました。お互いの学校説明、歌やダンスの披露などがありました。会話は英語でしました。英語に自信が持てず、戸惑う私たちに、台湾の生徒は、積極的に話し掛けてくれました。また、私たちが不便を感じないように、気が付けてくれたりしました。言語が違っても、積極的にコミュニケーションをしようとすると姿勢や語学の習得レベル、自然に気遣いができるところなど見習いたいです。台湾の生徒との交流を通して、改めて今の自分の英語力では通用しないところがあると実感しました。これからの英語で各々の課題に取り組む、英語力の向上を目指して頑張ります。

今回の研修は私たちにあって、初めてのことはばかりで、大変良い経験となりました。外国に行くことで気付く日本の良いところ、そ

の国の文化や雰囲気、それらを忘れず、自分の力にしていきたいです。そして、この研修に行こうと、本校同窓会の方々と先生方、家族にはたくさんの支援をいただきました。たくさんの方に支えられていることと、みなさんに対する感謝の気持ちを忘れず、学生生活を送りたいです。ありがとうございました。

三年 大高結以

沼商同窓会「明石海人の会」

第18回明石海人賞

☆最優秀賞作品☆

五角形

白いベースを 踏んだとき

数字になった チームの想い

二年 深澤菜々子

5月26日(土) 表彰式



紫旆祭開会式にて

講演会

実施日 6月8日(金)

対象 一年生 一八七名

講師 岡野久代氏

講演を聴いて

明石海人という一人の人物が、たった三七年という短い人生の中で、一生懸命生きていたと言うことをよく知ることができました。

二四歳でハンセン病と宣告され、当時は不治の病とされていて、その上、家族に伝染して親族までが差別されると思い、家を出て行くことを決めた明石海人の気持ちを考えると言葉では言い表せないような気持ちであったと思います。ハンセン病に体をむしばまれ、精神錯乱の状態であったり、声を失ってまでも「白描」という作品を作り、最後の最後まで歌を作り上げていたということを知って、明石海人は、心から歌を愛していたのではないかなと思いました。そして私たちに諦めないことの大切さを教えてくれたと思います。

今では、ハンセン病は治る病気となっています。世界から差別や偏見がなくなることで、そして明石海人について、次の世代にも知って欲しいと思いました。望月花蓮



部活動紹介

弓道部

東海高校総合体育大会

☆第三位 ☆

私たち弓道部は、全国大会出場を目指し、日々の練習に励んできました。最後のインターハイでは、顧問の先生の熱いご指導や、メンバー全員で支え合い、毎日練習してきたことよって、東海大会三位という成績を収めることができました。また、団体の県代表選手選考会という舞台を励まし合った仲間と共に経験させていただくことができました。これまで熱心に指導してくださった先生、厳しい練習も一緒に乗り越えてきたチームメイト、辛い時に話を聞いてくれた両親、友人など支えてくれた方々にとっても感謝しています。

試合が近づくにつれ、焦り不安で思い通りの結果が出ない時がありました。しかし、皆で話し合ったり、アドバイスを申し合ったりにより、少しずつ自信を持つことができようになりました。最初のころは「できない、やりたくない」と言っていた私たちですが、最後には「よし、頑張ろう」とお互いに励まし合い、成長することができました。

毎日の朝練習や放課後、休日の

練習を休むことなく取り組むことが大きな結果へとつながることを学びました。また、技術だけでなく、礼儀作法、精神面でも成長することができ、社会に出るにふさわしい人間になることができました。のではないかと思います。

このような経験ができたのは、たくさんの方の支えがあったからです。ありがとうございます。弓道部はこれからも全国大会に向けて頑張っていくので応援よろしくお願います。 部長 浅倉麻衣

会計実務部

東海地区高校

商業実務総合競技大会

☆団体出場 ☆

私たち会計実務部は、検定取得と東海大会出場を目指して日々問題練習をしてきました。

大会の問題の内容は、日商簿記検定二級の範囲が広がるのに比例して年々難易度が上がっています。昨年も実務競技会に出場しましたが、六位までに入賞することができず、悔しい思いをしました。今年も、昨年の反省を活かし、どういうところが配点箇所か、どの問題から解けば時間を上手く使えるか考えながら問題練習をしました。今まで勉強したことがなく分からぬ問題は、先輩後輩関係なく教え合ったり、納得がいくまで

問題を解いたりしてきました。また、インターネットの配信動画を見たり、顧問の先生に教えてもらったりして、難しい問題にも対処できるようにしました。

実務競技会は私にとって、引退前最後の大会だったので、いつも以上の大会に緊張した気持ちで挑みました。結果は、団体六位に入賞することができ、東海大会に出場することができました。

このような結果は、顧問の先生方のおかげだと想います。そして、大会は三人ではないと団体で出場することができないので、一緒に大会に出てくれて、東海大会に出場するチャンスを与えてくれたボランティア部の二人の後輩には感謝の気持ちでいっぱいです。会計実務部は部員は少ないですが、支えてくれる方の大きさを改めて実感しました。今後も応援よろしくお願います。 部長 佐藤来美

○女子バレー部

静岡県高校総合体育大会(6月)
準優勝 東海大会出場

○女子バスケットボール部

全国高校バスケットボール
選手権大会静岡県予選
ベスト8

○弓道部

東海高校総合体育大会弓道競技
女子団体 3位
女子個人 決勝進出 浅野愛莉

○会計実務部

東海地区高校商業実務総合競技大会
簿記の部団体 出場
珠算の部個人 26位 諏訪部翔太
全国高校IT・簿記選手権大会
中部地区予選簿記の部
優秀賞 齊藤小夏

○電算機部

全国高校情報処理競技大会
個人の部 26位入賞 田保奈波
全国高校IT簿記選手権大会
団体の部 14位

全国高校情報処理選手権
団体の部 6位 沼商Aチーム

○商業美術部

産業教育フェア
出品 安藝美乃里・城所 優

○吹奏楽部

中日個人重奏コンテスト本大会
金管十重奏 出場

○3年生情報ビジネス科

東海地区高校
課題研究「地域研究」
生徒商業研究発表大会出場

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 水口清久 | 山代久 | 廣治男 | 東重良 | 杉茂郎 | 嶋山田 | 植松田 | 脇田部 | 諏訪林 | 小保田 | 久保田 | 叶藤 | 加藤 | 上藤 | 木幡 | 森瀬 | 廣橋 | 長橋 | 鈴木 | 鈴木 | 榎原 | 小松 | 後藤 | 勝田 | 西尾 | 寺田 | 小池 | 日吉 | 大原 | 津野 | 片倉 | 羽野 | 密野 | 石川 | 大川 | 渡辺 | 浜村 | | |
| 高12 | 高12 | 高12 | 高12 | 高12 | 高12 | 高12 | 高11 | 高11 | 高11 | 高11 | 高11 | 高11 | 高11 | 高11 | 高10 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高9 | 高8 | 高8 | 高8 | 高7 | 高7 | 高6 | 高5 | 高4 | 高3 | 高1 | 旧46 | 旧45 | 旧45 | |
| 田代 | 木村 | 川崎 | 屋代 | 日置 | 大石 | 高橋 | 浅倉 | 芹沢 | 芹沢 | 笹原 | 栗原 | 工藤 | 遠藤 | 植松 | 鴻野 | 山本 | 栗原 | 川村 | 林村 | 加藤 | 田中 | 杉山 | 渡邊 | 岸本 | 川口 | 大野 | 山口 | 永田 | 村山 | 杉山 | 齊賀 | 井出 | 鈴木 | 平野 | 佐野 | 渡邊 | | |
| 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 | 幸美子 |
| 高28 | 高28 | 高28 | 高27 | 高27 | 高27 | 高26 | 高26 | 高25 | 高24 | 高23 | 高23 | 高23 | 高23 | 高23 | 高22 | 高21 | 高21 | 高21 | 高20 | 高20 | 高20 | 高19 | 高19 | 高18 | 高18 | 高18 | 高18 | 高17 | 高17 | 高16 | 高15 | 高15 | 高15 | 高14 | 高13 | 高13 | 高12 | |

平成三十年度
 ☆部活動支援金☆
 協賛者一覽表(268名)
 支援金総額 1,044,720円
 「協力ありがとうございました」
 平成三十一年三月末現在

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|----|
| 鈴木 | 山田 | 菊地 | 田野 | 高木 | 伏見 | 海野 | 菅野 | 青島 | 大石 | 細石 | 小林 | 土佐 | 田中 | 山中 | 古澤 | 植野 | 麻野 | 渡辺 | 青嶋 | 望月 | 松澤 | 野村 | 鈴木 | 佐野 | 栗野 | 宇佐 | 荒井 | 片山 | 諸星 | 石川 | 山田 | 金子 | 濱野 | 鈴木 | 浅井 | 湯山 | 一金 | 弓道 | 室伏 | 指定なし | 館子 | 大昭 | 森幸 | |
| 高13 | 高12 | 高8 | 高40 | 高30 | 高30 | 高29 | 高28 | 高27 | 高26 | 高22 | 高22 | 高21 | 高21 | 高20 | 高20 | 高20 | 高17 | 高17 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高15 | 高14 | 高13 | 高12 | 高11 | 高11 | 高10 | 高10 | 高10 | 高9 | 高8 | 高7 | 高14 | 高43 | 高43 | 高35 | | |
| 新高 | 窪田 | 貫名 | 金子 | 長野 | 大村 | 立道 | 勝道 | 柔道 | 内野 | 大竹 | 田邊 | 松永 | 青木 | 鈴木 | 小池 | サツ | 田村 | 鈴木 | 望月 | 伊東 | 柿島 | 大木 | 佐藤 | 坂倉 | 高島 | 藤本 | 土佐 | 長谷 | 伊東 | バド | 平垣 | 小野 | 山田 | 加藤 | 中野 | 角秀 | 中山 | 小早 | 山本 | 芹澤 | 小澤 | 上野 | 岩崎 | 岩崎 |
| 高18 | 高17 | 高16 | 高13 | 高13 | 高12 | 高8 | 高5 | 高4 | 高32 | 高22 | 高19 | 高17 | 高12 | 高10 | 高3 | 高28 | 高28 | 高23 | 高22 | 高21 | 高19 | 高17 | 高12 | 高9 | 高8 | 高8 | 高8 | 高6 | 高5 | 高68 | 高51 | 高27 | 高26 | 高26 | 高23 | 高23 | 高22 | 高21 | 高20 | 高18 | 高18 | 高17 | 高14 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 遠藤 | 小山 | 若林 | 萩原 | 女子 | 室伏 | 白城 | 遠藤 | 小藤 | 藤本 | 鈴木 | 萩原 | 山本 | 男子 | 横山 | 神山 | 太田 | 竹野 | 中國 | 朝木 | 志村 | 杉本 | 勝本 | 渡邊 | 宮崎 | 高杉 | 袴田 | 芹澤 | 陸上 | 鈴木 | 杉野 | 渡邊 | 石橋 | 内野 | 女子 | 加藤 | 庄司 | 市川 | バレー | 小林 | 渡部 | 高田 | 大庭 |
| 高21 | 高20 | 高20 | 高13 | 高9 | 高28 | 高28 | 高25 | 高21 | 高20 | 高14 | 高10 | 高9 | 高47 | 高29 | 高21 | 高21 | 高20 | 高19 | 高17 | 高16 | 高15 | 高14 | 高12 | 高11 | 高10 | 高10 | 高8 | 高6 | 高47 | 高47 | 高43 | 高33 | 高32 | 高21 | 高14 | 高12 | 高11 | 高6 | 高51 | 高22 | 高22 | 高21 |
| 杉山 | 向笠 | 池田 | 渡邊 | 電算 | 平田 | 宮口 | 原木 | 鈴木 | 鈴木 | 朝木 | 岩崎 | 山本 | 吹奏 | 古谷 | 室伏 | 嶋山 | ◆文化 | 廣瀬 | 庄司 | ホッケー | 廣瀬 | 杉山 | ソフ | 武井 | 長嶋 | 古根 | 長澤 | 中川 | 町田 | 古野 | ソフ | 鈴木 | 岩野 | 生田 | 井上 | 中川 | 卓球 | 梶原 | 田中 | 漆畑 | 浅井 | 鈴木 |
| 高70 | 高69 | 高66 | 高8 | 高48 | 高31 | 高28 | 高25 | 高20 | 高18 | 高17 | 高16 | 高12 | 高17 | 高14 | 高12 | 高19 | 高11 | 高19 | 高15 | 高19 | 高15 | 高28 | 高21 | 高21 | 高17 | 高15 | 高10 | 高9 | 高9 | 高3 | 高44 | 高22 | 高17 | 高15 | 高6 | 高4 | 高34 | 高28 | 高24 | 高23 | 高22 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 指田 | 佐野 | 福田 | 鈴木 | 池田 | 茶華 | 山華 | 磯邊 | 二ノ宮 | 水宮 | 村上 | 鈴木 | 書道 | 中外 | 土方 | 土地 | 小澤 | 地域 | 土方 | 前田 | 地域 | 大木 | 田中 | 小杉 | 上林 | 芹谷 | 會計 | 池田 | 佐野 | 遠藤 | 肥田 | 鈴木 | 藤井 | 山口 | 田中 | 芦澤 | 芦澤 | 會計 | 藤井 | 高木 | 大石 | 商業 | 渡邊 | ワー |
| 高25 | 高15 | 高11 | 高11 | 高5 | 高13 | 高16 | 高11 | 高6 | 高5 | 高4 | 高22 | 高17 | 高12 | 高12 | 高10 | 高12 | 高10 | 高12 | 高10 | 高23 | 高18 | 高16 | 高13 | 高4 | 高66 | 高12 | 高12 | 高11 | 高11 | 高10 | 高8 | 高7 | 高4 | 高1 | 高41 | 高11 | 高11 | 高10 | 高10 | 高57 | 高57 | | |

平成三十年度決算報告

平成30年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額). Rows include 前年度より繰越, 育英基金拠出金戻り, 期間収益, 合計.

平成30年度 沼津商業振興育英基金(阿部基金)決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額). Rows include 前年度より繰越金, 奨学生より返済, 普通預金利息(スルガ), 普通預金利息(沼信), 定期預金利息(JA南駿), 合計.

平成30年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額). Rows include 前期繰越金, 年会費収入, 入会金, 役員会会費, 受取利息, 会報発行費, 支払手数料, 印刷代, 名簿作成費, 総会費, 会議費, 事業費, 事務消耗品費, 通信費, 人件費, 記念品代, 助成金, 慶弔見舞金, 旅費, 諸雑費, 次期繰越金, 合計.

平成30年度 静岡県沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書

平成30年4月1日～平成31年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額). Rows include 同窓会より奨学金, 同窓会より研修費、他利息, 在校生に対する給付金, 研修費, 進路指導, 育英基金へ繰越, 合計.

事務局だより

今年も二〇一名が新会員に

平成三十一年三月、男子卒業生六〇名、女子卒業生二四一名が新会員として登録され、二月二十八日に入会式を行いました。

奉仕活動 東富士涵養林の森づくり

加藤 紘一 (定二一回)

四月二十九日昭和の日に実施されたこの事業に今回沼商からの参加者は、同窓会長・学校長・同窓会役員・引率の先生・生徒の七五人で全体の参加人員の三分の一でした。

主催者からは若い力の参加に感謝の挨拶がありました。

◆教員の移動がありました

転出者等

副校長 多嶋 洋一 (御殿場)

事務局長 渡邊 広志 (富士東)

総務課長 森脇 啓文 (田方農業)

転入者等

副校長 松井 英樹 (伊豆総合)

事務局長 加藤久美子

(静岡県福利課)

第十五回 沼商OB美術展のお知らせ

沼商OB展も今年で十五回目となりました。会員の日ごろの楽しみのおかげで作り上げた力作が展示され、さらに今回は沼商創立百二十周年を迎えて在校生の若々しい作品も花を添え楽しい企画となっています。



ご来場を心からお待ちしております。お持ち帰りす。

会期 二〇一九年 六月十三日(木)～十九日(水)

会場 静岡銀行沼津支店 八階『四季』

連絡先 三宅 優

TEL 〇九〇一五六〇四一六二三一

同窓会へのご連絡お問い合わせは...

電話・ファックス兼用 〇五五・九三二・五七七七

(土・日・祝日を除く月～金の午前十一時～午後三時まで)